

# 新潟市における省力・多収のプチヴェールの栽培（露地）

平成 26 年 5 月 15 日作成

## 1、プチヴェールとは

プチヴェールとは、ケールと芽キャベツを交配させた作物です。芽キャベツのように「腋芽（えきが）」の部分を食べます。また、葉もジュースなどの原料などに使うことができます。ビタミン C、カロテン、鉄、カルシウムなどを多く含み、栄養価の高い野菜です。クセがないので、スープに入れたり、ケーキに混ぜたりと使い方は豊富です。

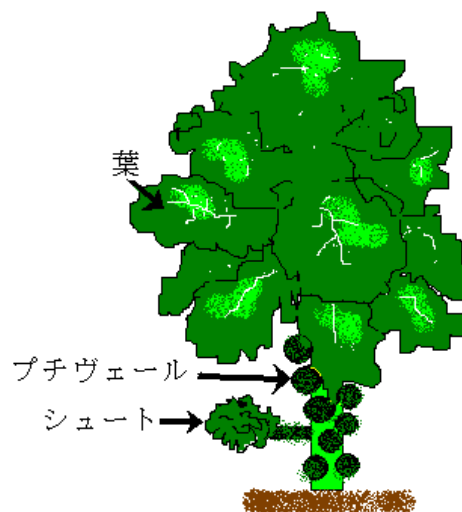
## 2、プチヴェール栽培の特徴

### （ア）生育

通常、夏期（8月上旬～中旬）に作付けします。暖かい時期は葉が増え、主茎が伸びます。晩秋（11月頃）になると、そうした自らの成長（栄養成長）が止まって子孫を残すための成長（生殖成長）に切り替わり、腋芽が膨らみ始めます。3月中旬を過ぎると花茎が伸びて、開花します。

### （イ）シュートの発生

8月中旬から10月上旬にかけて、本来商品になるはずの腋芽が異常に伸長してしまうことがあります。このような状態の腋芽を「シュート」と呼びます。シュートを放置しておくと、蒸れて病気のもとになったり、害虫のすみ家になったりしますので、発生を確認次第、速やかに除去しなくてはなりません。（シュートは、盛夏期の生育が旺盛すぎる場合に発生しますので、盛夏期の肥料を控えることで、発生を抑制することができます。）



### （ウ）収穫

11月になると、葉の展開が緩やかになり、生殖成長の時期を迎えます。順次下位葉を欠き（一度に欠く量は全体の4分の1程度）、腋芽に光を当てて肥大を促します。腋芽が直径5cmほどになったら収穫します。3月中旬以降は頭頂部の生長点と、各腋芽の生長点に花が付き、商品価値がなくなります。そのため、収穫作業は11月下旬から3月中旬頃までとなります。

### 3. 省力・多収を目指した栽培技術

7月上旬に基肥を入れず定植し、9月1日頃最初の施肥をすることで省力・多収の栽培が可能です。（ただし、前作の残肥が多すぎる場合にはシュートが多発してしまう可能性があるため、注意が必要です。また、作期が長くなりますので、防除は計画的に行ってください。）

作付表	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	△		◎	◆		■			
凡例	△定植		◎施肥1回目	◆施肥2回目		■収穫			

#### <定植>

##### (ア) 栽植密度

畝幅 120cm、株間 75cm、10 アール当たり 1,110 本、湿害に弱いので排水の悪い圃場では、やや高畝とします。

##### (イ) 育苗

植え付け予定日の 2 週間前に苗が手元に届くように購入します（7/10 定植の予定であれば 6/26 頃）。苗が届いたらすぐに 9cm ポットに増鉢し、株間を広めにして日向で 2 週間養成してから定植します。暑い時期の定植になりますので、植え穴に十分灌水してから植え付けてください。

##### (ウ) 支柱

植え付けたら、株元から 10cm 程度離れたところに、長さ 1m ほどの支柱を挿し、ヒモで輪を作って誘引します。このとき輪が小さいと、後に茎が太ってヒモが食い込んでしまうことがあるので注意してください。茎は 10cm 程度まで太ることがあります。

##### (エ) 灌水

植え付けから 1 週間程度は、天候次第で萎れることがあります。様子を見て適宜葉水などを打つようにしてください。その後はよほどのことがない限り、灌水の必要はありません。

#### <施肥>

盛夏期の生育が旺盛すぎるとシュートが発生してしまうので、地ごしらえでは堆肥と石灰のみを混和し、9月1日頃に緩効性肥料を施肥します（N1.6kg/a）。施用後は葉色が濃くなり、生育が旺盛になります。さらに1ヵ月後にも同様に追肥を入れることで、腋芽の肥大を促します。

株元から 20cm 程離れた部分に直径 10cm 程度の穴をあけ、施用してください。

### <マルチ>

当センターで、地温上昇を抑える「白黒ダブルマルチ」と通常の「黒マルチ」による栽培を比較したところでは、どちらも生育・収量に大きな差はありませんでした。安価な黒マルチをお勧めします。

### <病虫害防除>

7月～10月上旬はチョウやガの幼虫による食害が起こります。2週間に1回程度、薬剤散布を行ってください。また、秋から冬にかけてはアブラムシが発生する場合があります。適宜薬剤散布を行ってください。

### <使用できる薬剤>

薬剤名	適用	希釈倍率	使用時期	使用回数	使用方法
アドマイヤーフロアブル	アブラムシ類	4000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布
オンコル粒剤5	アブラムシ類	1g/株	定植時	1回	株元
アフーム乳剤	ハスモンヨトウ	1000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布
スピノエース顆粒水和剤	ヨトウムシ	5000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布
モスピラン水和剤	アブラムシ類	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布
コテツフロアブル	ハスモンヨトウ	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布

※このほか、「野菜類」で登録のある薬剤が使えます。

### <収穫>

11月下旬から12月上旬にかけてはまだ比較的気温が高いので、腋芽の節間が伸びやすくなります。地域の出荷規格に応じて選別してください。また、収穫物は水洗いをし、汚れやアブラムシ等の付着がないことを、よく確認してください。

### <経費(10アールあたり)>

資材名	単価	数量	合計金額
プチヴェール苗	115	1,110本	127,650
支柱(135cm)	200	1,110本	222,000
黒マルチ(0.02×135×200)	2,110	5本	10,550
もみガラ堆肥(40l/袋)	800	80袋	64,000
苦土石灰(20kg/袋)	800	5袋	4,000
高度化成肥料(20kg/袋)	3,200	2袋	6,400
合計			434,600